



2021年3月期第3四半期

決算説明補足資料

2021年2月12日

株式会社アイ・ピー・エス

証券コード 4390

決算概要

売上高：7,308百万円 営業利益：1,725百万円

事業概要

海外通信事業、国内通信事業が好調に推移し、増収・増益。

今期業績予想

売上高：9,600百万円 営業利益：1,900百万円

1 | 2021年3月期第3四半期 決算概要

【2021年3月期第3四半期 連結実績】

(単位：百万円)

	第3四半期				第3四半期累計					
	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	%	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	%	2020年5月公表 の通期予想	達成率
売上高	1,594	3,935	2,340	246.7%	4,756	7,308	2,551	53.6%	8,900	82.1%
営業利益	286	1,100	814	384.7%	832	1,725	893	107.3%	1,700	101.5%
経常利益	339	1,001	662	295.1%	834	1,571	737	88.4%	1,650	95.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	210	713	502	338.4%	527	1,105	578	109.7%	1,050	105.3%

2021年3月期第3四半期 実績分析

- **売上高**：海外通信事業において海底ケーブルシステムC2C回線の提供が開始されたことにより大幅に売上が増加するとともに国内通信事業が好調に推移したことにより、前年同期比53.6%増加。
- **営業利益**：売上が伸長した海外通信事業及び国内通信事業が大幅増益となり、前年同期比107.3%増加。
- **経常利益及び親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益**：円高による為替差損113百万円計上したものの、営業利益の増加に伴い、それぞれ、前年同期比88.4%、109.7%増加。

■海外通信事業

(単位：百万円)

	2020/3	3Q	2021/3	3Q	前年同期比
売上高	951		3,324		2,373 (249.4%)
営業利益	359		1,056		696 (193.7%)
利益率	37.8%		31.8%		—

コロナウイルス感染症の影響による国際通信回線の需要の増加に加え、第3四半期においてC2C回線のフィリピンのCATV事業者や通信事業者への提供による売上、営業利益が大幅に増加。

■フィリピン国内通信事業

(単位：百万円)

	2020/3	3Q	2021/3	3Q	前年同期比
売上高	606		776		169 (28.0%)
営業利益	70		287		217 (306.6%)
利益率	11.7%		37.1%		—

コロナウイルス感染症の影響によりマカティ市での法人向けインターネット接続サービスの新規顧客開拓などが遅れているものの、海外通信事業で売上計上したC2C回線のフィリピン国内区間の提供により営業利益が大きく増加。

■ 国内通信事業

(単位：百万円)

	2020/3	3 Q	2021/3	3 Q	前年同期比
売上高	2,406		2,774		367 (15.3%)
営業利益	259		402		143 (55.3%)
利益率	10.8%		14.5%		-

AmeyoJ及び秒課金サービスを組み合わせたコールセンターソリューションサービスが好調に推移。コロナウイルス感染症の影響による通信トラフィックの需要が拡大し、売上・営業利益がともに増加。

■ 医療・美容事業

(単位：百万円)

	2020/3	3 Q	2021/3	3 Q	前年同期比
売上高	635		369		▲266 (▲41.9%)
営業利益	195		26		▲169 (▲86.7%)
利益率	30.7%		7.0%		-

コロナウイルス感染症の影響で、3医院とも3月中旬から5月中旬まで休業したことにより減収、減益。感染防止策を徹底し、昨年3月に開院したBonifacio Global Cityの第3院を中心にレーシックなどを提供。

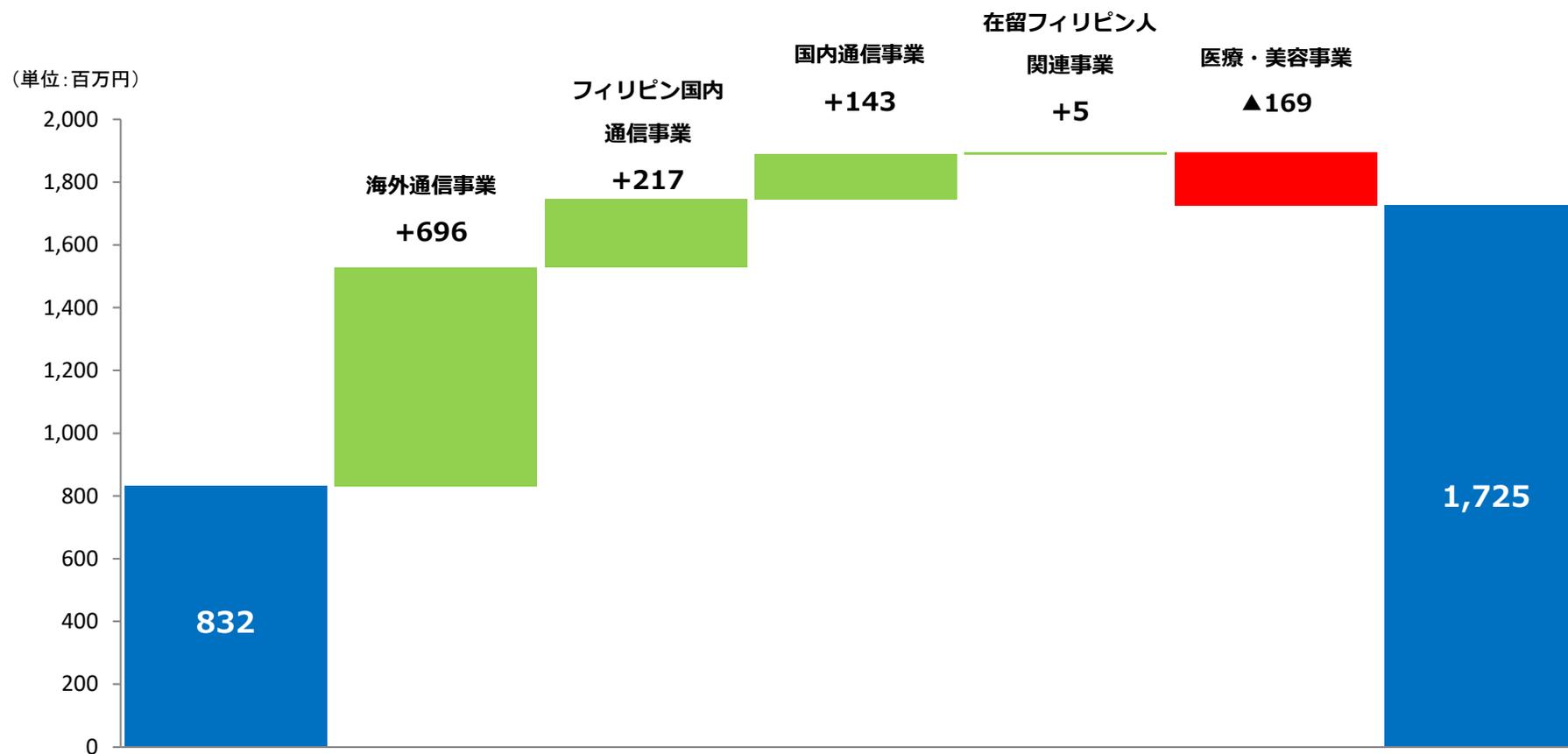
■在留フィリピン人関連事業

(単位：百万円)

	2020/3	3Q	2021/3	3Q	前年同期比
売上高	155		63		▲92 (▲59.2%)
営業利益	▲53		▲47		5 (-)
利益率	-		-		-

コロナウィルス感染症の影響で、求人需要が大きく減少し、介護事業者向けの人材紹介サービスも競争激化。人材関連事業について2021年1月1日をもって事業譲渡し、撤退。

通信事業が利益拡大を牽引。



連結貸借対照表（サマリー）

（単位：百万円）

資産の部				負債・純資産の部			
	2020年3月期末	2021年3月期3Q	増減		2020年3月期末	2021年3月期3Q	増減
流動資産	5,121	7,308	2,187	流動負債	2,445	3,828	1,383
現金及び預金	2,498	2,911	413	買掛金	419	418	▲ 1
売掛金	947	1,476	528	借入金	444	763	318
リース投資資産	1,163	2,409	1,245	その他	1,581	2,647	1,066
その他	510	511	0	固定負債	629	1,785	1,156
				長期借入金	449	1,559	1,109
固定資産	2,669	4,416	1,747	その他	179	226	46
有形固定資産	1,737	2,416	679	負債合計	3,074	5,614	2,540
無形固定資産	173	1,239	1,065	純資産	4,715	6,110	1,394
投資その他資産	758	760	2	株主資本	3,840	4,950	1,110
				累積包括利益	47	▲ 3	▲ 50
資産合計	7,790	11,725	3,934	新株予約権	7	7	0
				非支配株主持分	820	1,155	335
				負債・純資産合計	7,790	11,725	3,934

- C2Cの開通及びその提供により、リース投資資産、有形固定資産、無形固定資産が増加。
- C2C提供に係る未実現利益を負債計上したことにより、流動負債が増加。
- C2C回線購入に伴い長期借入金が増加したことにより、固定負債が増加。

(単位：百万円)

	2020/3月期 通期実績	2021/3月期		増減	
		前回（5月）公表	今回公表	前年度比	前回公表比
売上高	6,508	8,900	9,600	3,091	700
営業利益	1,070	1,700	1,900	829	200
経常利益	1,075	1,650	1,700	624	50
親会社株主に帰属する 当期純利益	645	1,050	1,150	504	100

業績予想修正の理由

- 売上高：海外通信事業において海底ケーブルシステムC2C回線の通信事業者への提供が追加されること、国内通信事業が好調に推移していることから、前回計画比700百万円の増加を見込む。
- 営業利益：海外通信事業及び国内通信事業の売上拡大により計画比400百万円増加の2,100百万円を見込む。この結果、2019年8月に発行した新株予約権の業績による行使条件（営業利益17億円）を達成する見込みとなり、株式報酬費用約200百万円を第4四半期に計上することから、200百万円増加の1,900百万円を見込む。
- 経常利益及び親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益：円高による為替差損などの計上を見込むものの、営業利益の増加に伴い、それぞれ50百万円、100百万円の増加を見込む。

セグメント別の業績予想の修正

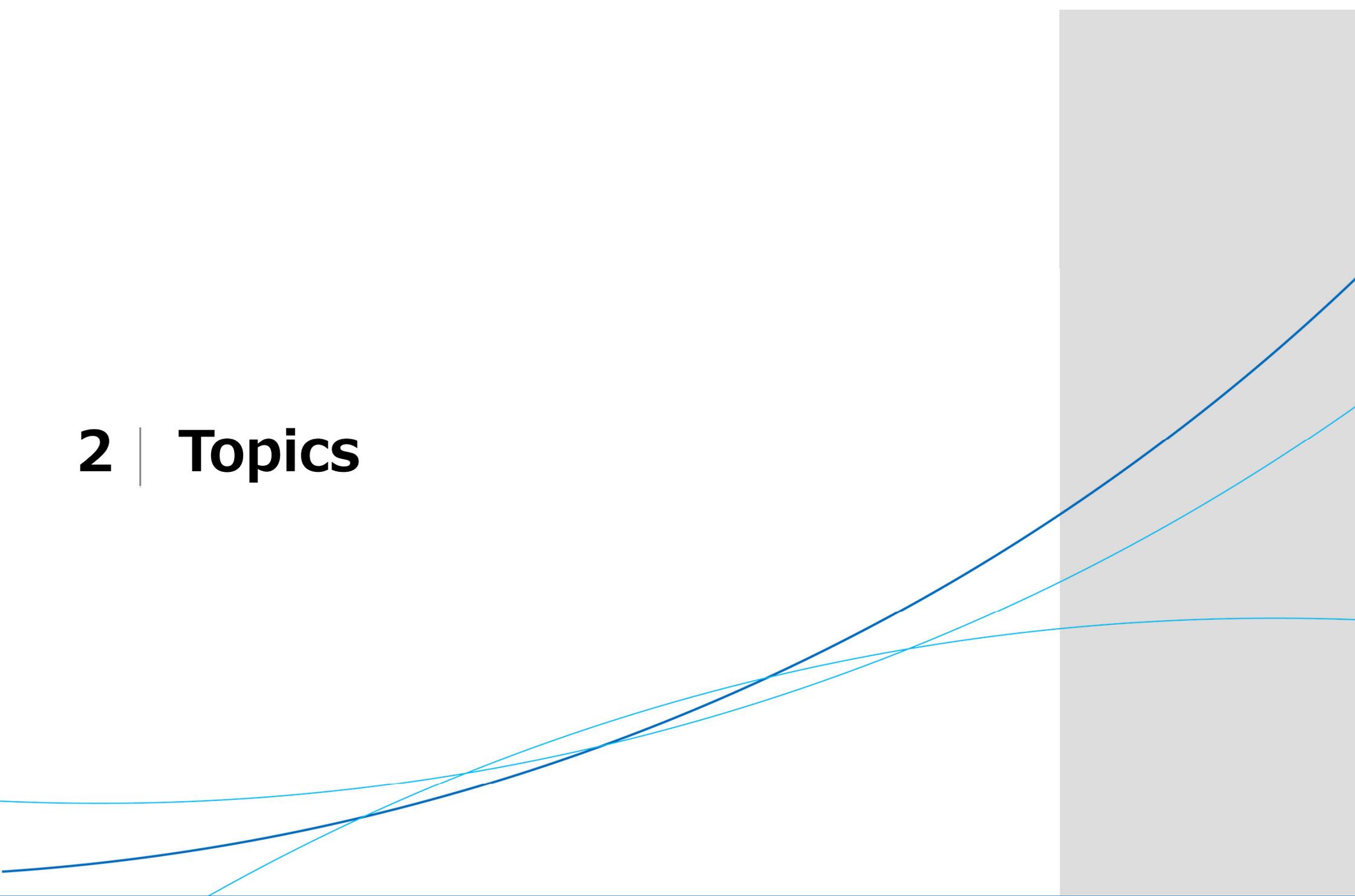


(単位：百万円)

セグメント	前回（5月）公表	今回公表	前回公表比	
			増減	増減率
売上高	8,900	9,600	700	7.9%
海外通信事業	3,100	4,275	1,175	37.9%
フィリピン国内通信事業	1,550	1,000	▲ 550	-35.5%
国内通信事業	3,400	3,625	225	6.6%
医療・美容事業	670	625	▲ 45	-6.7%
在留フィリピン人関連事業	180	75	▲ 105	-58.3%
営業利益	1,700	1,900	200	11.8%
海外通信事業	885	1,260	375	42.4%
フィリピン国内通信事業（注1）	330	290	▲ 40	-12.1%
国内通信事業	380	530	150	39.5%
医療・美容事業	100	80	▲ 20	-20.0%
在留フィリピン人関連事業	5	▲ 60	▲ 65	—
株式報酬費用（注2）	—	▲ 200	—	—
営業利益率	19.1%	19.8%	—	—
海外通信事業	28.5%	29.5%	—	—
フィリピン国内通信事業	21.3%	29.0%	—	—
国内通信事業	11.2%	14.6%	—	—
医療・美容事業	14.9%	12.8%	—	—
在留フィリピン人関連事業	2.8%	-80.0%	—	—

- (注) 1. フィリピン国内通信事業においては、C2C回線のフィリピン国内分の売上の計上を見込んでおりましたが、連結調整の結果、売上高は海外通信事業へ全て計上され、利益のみの計上となっております。
2. 新株予約権の行使条件達成に伴う株式報酬費用はセグメントに配賦いたしますが、現時点で配賦先が決定しておりませんので、各セグメントの進捗が分かるよう別掲しております。

2 | Topics



■ 海外通信事業

海底ケーブルC2Cについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、人・モノの移動などに制限のため、当初7月開通を予定していたが、10月に開通。新たに通信事業者への提供を開始。

ミンダナオ島などでの回線敷設に一部遅延が発生するものの、業績に対する大きな影響はなく、通信需要の増加により全体的に順調に推移。

■ フィリピン国内通信事業

フィリピンのロックダウンの影響により、回線敷設工事や営業活動の一部に影響を受ける。

■ 国内通信事業

在宅勤務、Web会議の増加に伴い、通信トラフィックの増加が続く。コールセンター関連の売上も増加。

■ 在留フィリピン人関連事業

介護を除き、飲食・清掃などの人材紹介の件数が大幅に減少するなど厳しい環境が続く。2021年1月1日付で人材紹介・人材派遣事業を事業譲渡。

■ 医療・美容事業

フィリピン人でのロックダウンにより5月中旬まで3院を閉院。新型コロナウイルス感染症に配慮した形で3院とも開院。

海底ケーブルC2Cの開通について



当社は、2020年5月にオーストラリア最大手通信事業者の海外部門子会社からフィリピンと香港・シンガポールを結ぶ海底ケーブルシステムC2Cの光ファイバーの一部を取得いたしました。

コロナウイルス感染症の影響から、当初予定の7月からは遅延しましたが、必要な機器の設置やバックホール回線の確保を行い、2020年10月に回線が開通いたしました。

開通した回線の一部を、フィリピン国内のケーブルテレビ事業者及び新たに通信事業者への提供を開始いたしました。

今後とも、C2C回線の提供による事業拡大を図ってまいります。



会社名
(英文社名)

株式会社アイ・ピー・エス
IPS, Inc.

設 立

1991年10月

本社所在地

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル8階

主な事業内容

海外通信事業：フィリピンのCATV事業者等に国際通信回線を提供

フィリピン国内通信事業：フィリピン国内での法人向けISPの提供

国内通信事業：日本国内での通信サービスの提供

医療・美容事業：フィリピンでの医療・美容サービスの提供

グループ企業

主な連結子会社

KEYSQUARE INC.

Shinagawa Lasik & Aesthetics Center Corporation

InfiniVAN, Inc.

- ▶ 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ▶ 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ▶ 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ▶ 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

《IRに関するお問い合わせ先》

株式会社 アイ・ピー・エス

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1
東劇ビル8階

TEL: 03-3549-7719 FAX: 03-3545-7331